



「勝間田城侍ソーラン」を披露する勝間田小5・6年生の児童

勝間田公園で春の訪れを

■勝間田公園つつじまつり

勝間田公園つつじまつりが4月13日、勝間田公園で行われました。

勝間田公園のある三栗山(標高89.8m)の一部は、ミヤマツツジ(学名:コバノミツバツツジ)の群生地として、昭和54年に静岡県の天然記念物に指定されています。

大勢の参加客で賑わった山頂広場では、勝間田小学校5・6年生の児童が「勝間田城侍ソーラン」を披露。また、地域の茶業関係者の皆さんによる新茶も振る舞われ、春の訪れを楽しみました。

看護の道へ決意を新たに

■県中部看護専門学校入学式

本市と藤枝市、焼津市、吉田町が運営する県中部看護専門学校の入学式は4月8日、同校講堂で行われました。

原宏介校長は「初心を忘れず、思いやりと強い精神力を養ってほしい」と激励しました。

今年度の入学者は37人で、本市からは八木華怜さん(細江)が入学。「牧之原市に貢献できるような看護士を目指し、頑張りたい」と抱負を語ってくれました。生徒は3年間、看護の理念や技術を学びます。



校長の式辞を聞く八木さん(写真中央)

いっぱい掘って、おいしく食べて

■タケノコ掘り／菅山保育園

菅山保育園の園児67人は4月23日、同園裏山でタケノコ掘りを行いました。

時ヶ谷桜会(菅沼英喜会長)の会員が見守る中、泥んこになってタケノコ掘りを楽しんだ園児たち。

巨大タケノコの解体ショーでは、タケノコのしきみや成長について学びました。益田園長は、「自分で見て感じて、この豊かな自然から色々なことを学んでほしい」と語りました。

この日のお昼はタケノコカレー。みんなで美味しいいただきました。



みんなで力を合わせて、タケノコを引き抜く園児

もえぎ色の茶畠で、園児たちの笑顔あふれる

■茶摘み体験／坂部保育園

農業法人さかぐち青年部(大関洋昭部長)が主催するお茶摘み体験が4月22日、坂部地区の茶畠にて坂部保育園の4・5歳児22人を迎えて行われました。

子どもたちにもっとお茶を知ってほしいと企画されたお茶摘み体験は、今年で5年目の開催です。

茶娘などの姿に扮した園児らは、同部員の手ほどきを受けながら、やわらかい新芽を力こいでいっぱいに摘みました。摘みたての新芽は、天ぷらやクッキーにして美味しくいただきました。



茶娘の姿でお茶摘みを体験している園児

広報担当がどこにでも取材に行きます。

あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎052-230052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

ズームイン!
カシャ!!



現代によみがえる、梅太郎博士

■「先生のオリザニン」制作発表会

オリザニン(ビタミンB1)を発見した鈴木梅太郎博士の生誕140周年を記念した舞台、「先生のオリザニン」の制作発表が4月7日、了見寺(牧之原市堀野新田)で行われました。

制作発表には、主演の加藤剛さん・加藤頼さん、劇団俳優座の関係者、西原市長が出席しました。

加藤剛さんは御前崎市出身。地元ファンが見守る中、梅太郎博士の墓前に手を合わせ、博士役を演じられることへの喜びを報告しました。

公演は6月12日から27日までの16日間、劇団俳優座創立70周年記念の特別公演として、東京日本橋の三越劇場で行われます。



市消防団初の「女性消防隊」が発足

■平成26年度市消防団辞令交付式

市消防団辞令交付式が4月6日、静波体育館で行われ、60人の新入団員が入団しました。

西原市長は、「新団長のもと、市民の安心安全、生命と財産を守るために頑張っていただきたい」と団員に訓示。野口本好剛新団長は、女性消防隊の発足を歓迎するとともに、「若い力を十分に發揮して欲しい」と新入団員を激励しました。

交付式後、苦川馨子女性消防隊長は「他市町を参考に牧之原市独自な取り組みをしていきたい」と意気込みを語りました。



辞令交付式で団長から任命を受ける女性消防隊



勝間田川の堤防でお花見を楽しむ見物客

ソメイヨシノ約1500本

■勝間田川さくらまつり

勝間田川さくらまつりが4月5日、6日に開催されました。

勝間田川の両岸では、約1,500本ものソメイヨシノが桜のトンネルを作り出し、堤防沿いは花見を楽しむ家族で賑わいました。また会場では、地元町内会の皆さん、おでん、焼きそば、綿菓子などを販売し、「はいばら太鼓保存会」の演奏も行われ、見物客を楽しませていました。

夜間はライトアップされた桜が勝間田川を幻想的に彩り、昼間とは違った美しさを演出しました。